

高橋達也氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

我がまち・地域への愛着と誇りをしっかりと持てるよう、より良い生活環境を確実に実現させたいから。市民の皆様が安心・納得して生活できるよう引き続き活動していきたいと考えており、特に中小企業、自営業者が多いこの地域では行政のかじ取りで生活の豊かさを実現することが可能。沼津市独自の教育や子育て支援策、観光戦略でまちの輝きを創り出すことができると信じており、そのためにも引き続き効果的な提言をしていく。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

全ての課題は住民の生活利便性向上に行き着く。市民が沼津市に住み、学び、仕事し、皆と共生していくのに必要な物と事を実現していくのが政治の最大の仕事。生活環境を質の高いものに変え、人と人との関りを愛情あふれるものにし、経済的な豊かさから生活の安心感を得られるようにすることが大きな目標。そのための具体的対応策は清潔で快適で安心な住環境、質の高い保育と教育、伝統を尊重する気風、産業の持続的発展の実現。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

本事業のみに沼津市の再生の可能性を求めるには無理があり、本設間には正確なコメントができない。本事業が沼津市の再生の一助となり得るか、と読み変えるならば答えはイエス。まちづくりは、やめた瞬間にまちの衰退が始まる。畑の土づくりと同じだ。財政のバランスを考慮し経済が回る仕組みを作るのは行政の仕事、仕組みの中で豊かさを創造するのは民間の仕事。経済が回らない悲劇はコロナ禍でまざまざと見せつけられた。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

未来は変えられるから可能。移住定住策に関し、まちの魅力を上げ他所から人をとってくるという発想は、根本的には同じ日本国民でありながら住所によって行政サービスに格差が生じる事なので本来はよろしくない、ということをお断りしておく。その上で戦略的に自治体が促進するなら移住者の抱える課題や不安を払拭することが大事。経済的な負担を肩代わりするのもよいが、一番は魅力的な仕事、ヒト、まち、がある沼津を作ること。